

休保制度加入者・会員の皆様へ「保険医休業保障共済制度」を守るこの間の活動と請願署名にご協力をお願い

自主共済規制問題対策本部 本部長・住江 憲勇

保団連は現在、保険医休業保障共済制度(以下、「休保制度」)を新保険業法の適用除外とするため請願署名に取り組んでいます。(本紙9月25日)皆様から短期間にもかかわらず多数の「請願署名」へのご協力をいただいたことにお礼申し上げます。ここに、この間の活動状況を報告し、国会での審議を求めため、あらためて皆様のご協力をお願い申し上げます。

自主共済を適用除外とする運動報告

「自主共済を保険業法から適用除外に」という訴えは、団体が相互扶助の精神で行う自主共済を現行通り継続させてほしいという憲法に保障された要求です。

この間、保団連を始め他団体と共同した運動の広がりを受けて、マスコミでも報道されるなど、自主共済の社会的役割が注目されています。



辻泰弘参議院議員(民主)に請願署名を託す
小島修司保団連共済部副部長(写真左)

自主共済を行う団体で、10月27日の国会審議で作る「共済の今日と未来を考える懇話会」(以下、「懇話会」)では、10月18日に議員要請行動を、10月25日に国会議員を対象とした勉強会を開催しました。保団連では、この間、皆様から寄せられた約1万8000筆の「請願署名」を10月26日、各党国会議員へ提出し、この問題での国会審議を要望しました。

これら運動を通じて、適用除外が困難な場合であっても、できる限り、現行の制度内容を維持・存続させることを目標に、対応方法も検討しております。また、休保制度を今後とも健全に運営するため「委託」に関する金融庁との交渉を、継続して取り組んでおり、金融庁からの提案も要求しています。その他の対応方法として、「共済協同組合」に関する政省令(案)への

対応準備をすすめ、中小企業庁との連絡や、要望なども行い、引き続き加入者・会員のご要望にこたえられるよう努めて参ります。

国会請願署名運動へのご協力をお願い
自主共済を新保険業法から適用除外とさせるため、12月半ばまで予定されている臨時国会で、国会議員に取り上げてもらうよう、引き続き「請願署名」にご協力をお願いします。
保団連は「懇話会」など多くの団体と協力して請願署名や議員要請、マ

水俣病は終わっていない 保団連公害視察会を水俣で開催

全国保険医団体連合会は、2006年度公害視察会を11月4、5日、熊本県水俣市で開催し、医師・歯科医師ら48人が参加した。視察会では、参加者の総意で、現行の認定基準を見直し、水俣病被害者の全面的な救済を求める「決議」を採択し、環境省等に送付した。今年、1956年に



チッソ工場を視察する参加者

水俣病が公式に確認されたから50年の節目の年に当たることから、公害環境対策部では、改めて、公害の原点」と言われる水俣病について学ぶこととし、水俣視察を決定した。視察会は、4日に、高岡滋水俣協立病院総院長の「水俣病の現状と今後の課題」と題した学習講演会と交流会を開催。高

岡氏は、関西訴訟最高裁判決以降、認定申請者が急増している現状と認定基準の破綻を明らかにし、最も重要なことは、水俣病の全貌を解明し、すべての被害者に対して補償を行い、水俣病の救済を生かした、国民の安全を中心とした政策を行政の基本とさせることだと指摘した。

講演会および交流会には、水俣病不知火患者会、ノーモア・ミナマタ国賠等訴訟原告団からも代表が参加し、水俣病は過去の問題ではなく現在進行形の問題であることを強く訴えた。

5日は、重症心身障害児(者)施設「明水園」を訪れ、交流するとともに、水俣病の救済を世界に見学、水俣病資料館を見学、最後に水俣病の原因となったメチル水銀を排出したチッソの全容を水俣協立病院の屋上から俯瞰した。

参加者からは、水俣病は過去の問題と違って、認定申請者が急増し、熊本の鹿兒島、新潟三県で4、500人にのぼっているが、政府・環境省は認定基準の見直しを拒否している。

水俣病被害者の全面的な救済を(決議)
1956年に水俣病が公式に確認されたから、今年5月1日で50年が経過し、小泉首相は「政府の責任を痛感し、率直にお詫びする」との談話を発表した。しかし、認定基準の見直しや救済への具体的な解決策には何ら触れず、50年を経た今日も水俣病の全面解決への道は開けていない。

2004年10月の関西訴訟最高裁判決は、国や熊本県、加害企業チッソの責任を断罪するとともに、現行の認定基準を事実上否定し幅広い救済を求めた。この判決以降、認定申請者は急増し、熊本、鹿兒島、新潟三県で4、500人にのぼっているが、政府・環境省は認定基準の見直しを拒否している。

水俣病は過去の問題ではなく現在進行形の問題である。最高裁判決が指摘した国、県の行政責任と水俣病は公害の原点(衆院決議)との立場をふまえて、広く被害者を救済するため、77年基準の見直しに即着手することを強く要求する。

オリジナル
プラスチック診察券が
新しいイメージを創ります



貴院に2つの顔をご提案

●値段が安い
トータルコスト(制作や印刷等)を抑え、お求めやすい価格を実現しました。また、裏面は張り替えができる便利なシールもあります。プラスチック診察券は貴院のイメージアップと共に、患者さんへの信頼を高めます。

とうきょう
東杏印刷株式会社

お問合せ・ご注文は☎でTEL.0120-119-062 FAX.0120-172-113
〒178-0063 東京都練馬区東大泉2-11-4 TEL.03-3923-1101(代) FAX.03-3923-1109

オリジナル封筒

●値段が安い・注文が簡単・納期が早い
一般的な定形郵便サイズの長4・長3封筒から大型の角3・角2封筒を取り揃えております。色も一般事務用のクラフトから白・カラー封筒とバリエーション豊富に取り揃えておりますので、貴院のイメージに合わせてお選びいただけます。また単価が安く、注文方法が簡単、しかも納期が早い、が弊社の特徴です。詳しくは下記までお気軽にお問合せください。

